

みんなでつくる! 未来の学校

第四中学校区小中一貫校を  
考えるワークショップ

ニュースレター  
Newsletter Vol.2  
2022/3 発行



第2回「子どもたちの教育を考える」

2022/2/16 (水) 19:00~21:00

オンライン

参加者: 34名

発行元: 門真市教育委員会

第1回のふりかえり

スクールツクールは、学校の「整備」を考える場です。門真で新しく整備する小中一貫校に向けて、教職員や保護者、地域の人も関わって、みんなで様々な事例を学びながら、学校整備のコンセプトを考えていきます。

第1回スクールツクールでは、整備事業の概要と、スクールツクールの目的を説明しました。そして、学校整備や教育に関する先進事例やこれまでに実施したヒアリング結果を共有し、これからの学校づくりに向けて、門真の新しい学校でできそうなことを話し合いました。



学校を地域の人考える意義

学校は子どもたちが学ぶ場所 (前提)

少子化、核家族化が進む  
→子どもたちを地域の人を守り育てていく場所  
→学校と地域がつながると、地域の人の生活も豊かになる

1

子どもたちが地域のことを学べる  
環境、職業、福祉など

2

学校と連携した地域活動の拠点ができる  
会議室、図書館、調理、運動場など

将来的には学校と地域が一体になった運営につながる

空間の考え方の事例紹介

新しい学校づくりを考えていく上で、先進校の取り組みを知ることはとても大切です。スクールツクールで検討しているコンセプトがどのように空間に反映されていくか、先進校の取り組み事例を紹介し、イメージを膨らませていきました。

京都市・凌風小中学校

学園生同士 (1年生~9年生) の交流を意識した学校づくり

- 中庭を中心に置き、つながりや存在を意識
- 最高学年 (9年生) の教室を真ん中の階に置き交流を促進



守口市・さつき学園

地域に根ざし、地域と協働した学校づくり

- 地域との連携を促進しやすい地域関連の部屋を設置
- いろいろな世代の交流の拠点機能をもたせる



先進校視察会のふりかえり

2022年1月12日、京都府京都市の凌風小中学校への視察会を開催しました。視察会では、凌風小中学校の先生から学校の概要についての説明いただいたあと、校内を見学しました。ふりかえりでは、4つのグループにわかれて、視察会参加者から、感想や印象に残った空間や使い方について報告し、共有をしました。

視察会の感想

開放的な空間

- 明るく広い廊下など子どもたちがのびのびできそう
- 図書室が開放的で本が好きになりそう

自由な使い方

- 多目的に使える空間
- 余白がたくさんあり子どもたちの自由度が高まりそう



広い廊下



図書室



多目的室

楽しい雰囲気

- 子どもたちが隠れられる場所がたくさん
- 壁の色など、建物にストーリーがある

子どもたちと教員

- 壁がなく教師の目が行き届き、職員室も全体が見渡せる
- カウンターで先生と生徒のエリアを分離



色のついた壁



職員室



職員室のカウンター

セキュリティ

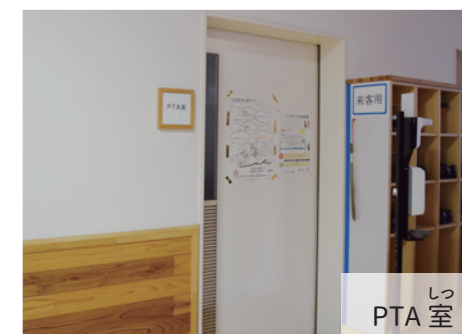
- 教室から廊下側にもランド側にも行ける
- 地域の方と子どもたちが利用する部分を分けて管理できる

空間の配置

- 体育館、理科室などの特別教室が全て2つつつある



ランド側の出入り口



PTA室



体育館



## 意見交換「コンセプトキーワードを考えよう！」

前回のワークショップの意見交換から門真の新しい学校づくりに向けて大切にしていきたい4つのテーマ「子どもたちが誇れる学校」「子どもたちの主体的な学び・学習環境」「子どもたちの安心安全の確保」「学校と地域とのつながりを生む空間」が導き出されました。これらのテーマについて空間や使い方、機能や役割などさらに具体的なイメージを、4つのグループに分かれて話し合っていました。

### 子どもたちが誇れる学校

**機能・役割** 特徴的な取り組みなど、この学校にしかない特色をだす／経験したことを自慢できる

あたらしい学校をみんなに知ってもらえるような情報発信

**空間** 子どもたちに選択権がある、子どもたち目線の学校づくり／子どもたちのお気に入りの空間がある

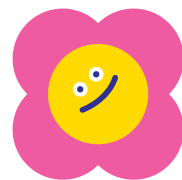
子どもたちと地域の人々が発表（美術作品や学習成果）し、お互いにリスペクトし合える場がある

**使い方** 地域の人達が得意なことを子どもたちに教えらるる場／「かっこいい」大人に出会える場

1年生から参加できたり、大学生に教えてもらったりするなどクラブ活動の充実

あんな8年生、9年生になりたいと、あこがれの先輩生がいるような学年を超えた関わり

**その他** この学校で学んだ卒業生の活躍を感じられる



### 子どもたちの安心安全の確保

**機能・役割** 避難所としての機能と学びの場としての機能との共存

**空間** 各階に子どもたちがすぐに先生に聞きに行ける先生の待機場所／広い階段・廊下

災害時に子ども達が逃げやすい階段、建物の高さ／複数の出入口／外からも見える空間

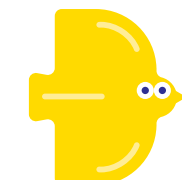
地域と学校のセキュリティゾーンの設定／歩車分離された通学路／使いやすいトイレ

**使い方** 通学路の安全確保／人の目が大切、地域の人と協力した見守り

地震が起きた場合に速やかに避難、待機できる／悩んでいる児童生徒が相談できる相談室

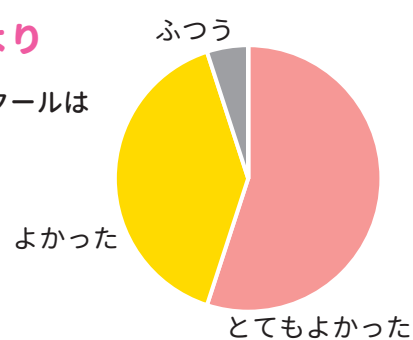
**その他** 門の近くに交番／必要な場所への防犯カメラ・モニターの設置／最新の換気機能

**(設備)** 災害時の防災拠点になるような独立エネルギー／正門のセキュリティ



### アンケート結果より

Q. 今日のスクールツクールは  
いかがでしたか？



Q. 最も印象に残ったことは何ですか？

グループに分かれて、意見交換ができて良かった／地域の方たちとの関わり方を工夫することが学校にも子どもたちにも良い方向になったと思った／オープンにする場合の安全面が不安／自分の部屋がない子どもたちにとって、一人で学習できる学習環境は必要

## 意見交換の流れ

- 4つのテーマを15分間ずつ意見交換する
- シートにグループの意見を書き込む
- 書き込んだシートを次のグループへ回す
- 4グループでシートを回し意見を書き足していく



### 子どもたちの主体的な学び・学習環境

**機能・役割** 放課後に大学生が教えてくれる塾／不登校の子が活躍できるような学校

塾に行かなくても十分な学力がつくような学校

**空間** 集中して勉強できる自習室／遊びながら学ぶことのできる空間／本のあるフリースペース

自由に使える図工室／子どもたちが自由に使い方を考えて使うことができる空間

調べ学習（パソコン・図書）、グループ作業、発表など目的に合わせて色々な使い方ができるスペース

**使い方** 顕微鏡など、自由に気軽に色々なものに触れるような仕組み、好奇心が湧くような仕掛けをつくる

夢や目標を見つけた時になにをすればいいかを調べられる、探すことができる

**その他** パソコンやホワイトボードなど学ぶためのさまざまな設備がある



### 学校と地域とのつながりを生む空間

**機能・役割** 学校と地域をつなぐコーディネーター／先生の異動でつながりが切れないシステム

居場所のない子どもたちの放課後の居場所づくり

**空間** 地域の人々が常にいることができるスペース／公民館のような地域交流施設

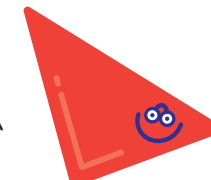
地域と学校とのシェアスペース／地域の人と子どもたちが昔遊びができる広い空間

子どもたちの学習の成果を地域の人に発表できる場／中学生と高校生の交流の場

**使い方** 子どもたちと地域の人と一緒に野菜を育てる／地域の人も使える図書室・喫茶スペース・調理室

大学生や地元企業が子どもたちに教える放課後学習／地域の人や地元企業と一緒にクラブ活動

門真で働く人に地域の知恵や技術を教えてもらう／門真の歴史を地域の人たちと学ぶ



Q. 学校整備のコンセプトでの意見交換で、特に印象に残った言葉はなんですか。

子どもの主体的な学びの環境整備／安心・安全な学校／子どもの居場所／一人の部屋も大切／子どもたち自身がつくる空間／開放的空間と安全面のバランス／地域との連携／地域と共に成長できる

次回の案内

第4回「学校整備を考える」  
3月下旬に開催予定

詳細が決まり次第、ご連絡いたします。